

■車両ショールームで介護福祉事業 ライズ・インターナショナルの試み

訪問介護サービスや福祉用具の販売などを手がける株式会社ライズ・インターナショナル（神奈川県川崎市）が、東京トヨペット（東京都港区）と組み、介護サービスのコーナーをトヨペットの各店舗に併設することとなった。店舗にはケアマネジャーや介護福祉士等の資格を持つスタッフを配置し、介護用品の販売や在宅サービスの紹介、住宅改修の相談などを行うとしている。

同社では、車で気軽に立ち寄れる車両のショールームで、介護相談やサービスの紹介を受けられるというのは、現代の車社会にマッチし相互の付加価値を高めることにもなると判断。車両販売の拠点であるショールームを、福祉に関する生活の“情報発信基地”としていくことで、福祉車両や一般車両の購入予定者、介護サービスを受けたい介護者といった、それぞれの顧客の流動化を図りたいとしている。また、将来的には近隣の学校を対象とした福祉授業の開催や、地域行政・商店街・老人会などとの連携による催しなど、地域に密着した試みも視野に入れているという。

昨年7月より東京都昭島市にオープンした、東京トヨペットの都内最大規模を誇る中古車センターでの試験営業を経て、今年9月より都内23区内に展開を始める。

都内第1号店としては、目黒区の東京トヨペット目黒店で展開し、来年以降も順次計画的に出店、平成18年度までに12事業所の開設を図り、東京23区全域をカバーする予定で、同社ではこれらの出店により16億円の売上を見込んでいる。

介護福祉事業者における異業種間の連携という新たな試みが、いかにして地域に溶け込み、認知度を上げていくか、今後の展開に期待したい。

※ライズ・インターナショナル

TEL.044-959-2331